

NEWS RELEASE

2022年7月26日

日本豆乳協会

SOY2205

日本豆乳協会

速報

2022年4-6月期における豆乳類の生産量が106,920kℓ達成見込み

～ 1-6月の上半期においては、203,200kℓと、ほぼ前年同量を維持～

日本豆乳協会（事務局：千代田区二番町 会長：藤村 公苗 キッコーマンソイフーズ株式会社 代表取締役社長、事務局長：杉谷 智博、以下豆乳協会）では、2022年4-6月期における豆乳市場の動向について検証したところ、豆乳類全体の生産量は106,920kℓとなり、長引くコロナ禍にあるにもかかわらず、前年と比較すると99.5%とほぼ同量となっています。

また、2022年1月から6月の上半期においては、203,200kℓとなり、コロナ禍により外食需要が落ち込んでいることに加え、飲食物全体の値上げが続き、消費者の買い控え傾向が顕著な中で、前年とほぼ同量を維持（100%）しています。

なお、豆乳類の分類別の分析については、8月中旬に改めて、発表します。

（参考）

日本豆乳協会は、豆乳および豆乳製品の普及を第一の目的に様々な啓蒙活動を行っています。昭和54年9月1日に設立して以来、豆乳メーカー各社が会員となり、メーカー同士の親睦や情報交換、さらには他の機関や団体との協調を図っています。豆乳類の製造、加工、品質、流通に関する研究はもちろん、業界の健全な育成、発展に寄与することをミッションに、日々、豆乳の普及や期待される効果・効能の啓蒙活動を展開しています。毎年10月12日を「豆乳の日」と制定し、業界全体が一丸となって豆乳の普及に向けて様々な活動を行っています。

<報道関係の方のお問い合わせ先>

日本豆乳協会広報事務局

(株)VA インターナショナル

田中/岩野

メール：vai@va-intl.co.jp

TEL:03-3499-0016 FAX:03-3499-0017